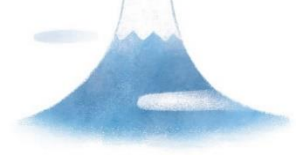




# 1月園だより

令和6年1月  
段原みみょう保育園



## 本年もどうぞよろしくお願いたします

未就園のお子さんの親子を対象とした園開放では、先月、先々月と園見学に保護者の方が大勢来られました。園内をぐるりと周り、各保育室で子どもたちが遊んでいる様子を見ていただくのですが、その際、保護者の方の中には、ご自分が子どもの頃の保育と今現在みみょうでやっている保育の違いについて、熱心に聞いてこられる方々がいらっしゃいます。その方々いわく、「昔は、例えば、先生が子どもたち全員の前に立って、今日作る物の作り方を説明して、みんなで同じ物を作るということをしていたように思うのですが…。今は違うのですね。」「今はみんなが同じことをしないのですか。」「おっしゃる通りです。十数年前までは、みんなが同じことをする中で、一人ひとりの生活面・運動面・芸術面・言語面などのスキルの向上を求める傾向にありました。しかしそれでは、自分で考えて行動する力や、人と関わる力、挑戦意欲など、人として必要な力（非認知能力）が育ちにくいということが世界で、そして日本でも実証されるようになり、みみょうグループでは、いち早く保育について見直し、常に子どもから発信する、子どもたちがやりたいことがたくさんできる保育園を目指しています。

これまでのお子さんの園生活で、みみょうの保育を十分にご理解いただいていると思いますが、幼児クラスでは、子どもたちと保育者が、やりたいことを実現するためにはどうしたらよいか、もっとよくするために工夫してみてもどうかなど、日々話し合い、実践し、また話し合っ…と試行錯誤を繰り返しながら遊んでいます。その中に子どもたちの「～のようにやりたい。」「～のようになってみたい。」などのイメージや憧れ、目標がいっぱい詰まっています。それらに近づけるよう、保育者は子どもたちの支えとなっています。乳児クラスでは、主に保育者が子どもたちの成長発達を考えながらあそびを用意しますが、次のことに気をつけるようにしています。子どもたちが数あるあそびの中から自分で好きな場所を選んでいくこと、子どもたちの表情や気持ちを理解し、退屈しないよう変化を加えていくこと、先さき、何でも教えていくのではなく、子ども自身が気づいて（発見）し、感動する瞬間を大切にすること…子どもたちの主体性を重んじた、やりたいこと、言いたいことを言葉ではなくても表情や体の動きで表現できる保育を大事にしています。そうしていくことで、幼児クラスになった時、上記の下線のような姿の子どもたちへとなっていきます。今年も引き続き、未来へ躍進する子どもたちを精一杯の愛情で見守り、支えていきます。保護者の皆さまからも忌憚のないご意見をいただければと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、13日（土）は、12月に延期になりました幼児クラスの生活発表会です。すみれ組では、毎日、鍵盤ハーモニカの音が聞こえてきます。先日、ちょっとお部屋に行ってみると、何人もの子が、知っている曲を次から次へと吹いていました。一人の女の子が「『となりのトトロ』の楽譜を作ってほしいんだけどなあ。」と言ってくるので、「いいよ。」と答えると、その子は早速、クラス全体に向け、「トトロの楽譜を用意してくれるってよ～。何人いる？手を挙げて～。」とまあ大人顔負けの仕切り様でした。連日、みんなで合わせて吹いたり、吹けるレパートリーが増えていくことが楽しくてたまらないのでしょう。すばらしいほどの向上心です。今年度のすみれ組さんは、けん玉といい、音楽あそびといい、恐竜の知識の深め方といい、とことんやりぬく子どもたちばかりです。子どもたちのアイデアがいっぱいの発表会が楽しみです。

最後に幼稚園の認定こども園への移行と今後の工事についてお伝えいたします。

来年度4月より、みみょう幼稚園は「認定こども園みみょう幼稚園」となり、従来の満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児に加え、0・1・2歳児のお子さんもお預かりします。認定こども園みみょう幼稚園は、幼稚園と家庭とが一体となったより質の高い教育・保育に努め、保育園は、保護者の方の就労を支え、より丁寧で子どもたちの気持ちに寄り添った保育に邁進まいります。

また、4月までに2階のデッキを人工芝に張替え、3階図書室・和室を保育室へと改築する予定です。工事の期間中、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

園長 香川 寮子